



# 輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

## 「避難訓練」自分の命は自分で守る ～訓練でできないことは「本番」でできない～

8日、今年度2回目となる避難訓練を実施しました。予定ではもっと早い時期に実施するつもりでしたが、感染症の拡大等があり、今の時期になりました。今回の避難訓練では、「とにかく非常時に子どもが自分の力で対応することができるようにする」ことを目的に左記の形で行いました。当然 予告はなし。

- 昼休み それぞれ 過ごしている場所から
- 先生からの指示なしで
- その場で命を守る行動を選択し  
最終的には校庭に避難する。

子どもたちの様子は・・・  
「ちょっと問題あり」でした。  
放送で避難訓練の実施を告げ、命を守る行動をとるように話しても、倒れてくるものの近くにいたり、友



だちと話をしていたりする子もおり・・・まだまだ課題のある避難訓練となりました。（前回の避難訓練の課題がそのまま残ってしまいました。反省です。）最終的に校庭に集まった子どもたちに対して

「訓練でできないことは、本番にはできないこと」  
「自分の命は自分で守ること」  
「自分の命が確保できたら、他の子（特に低学年の子）の面倒をみること」

等をあらためて伝え、しっかりした安全意識をもって行動するように釘を刺しました。

子ども達が、学校にいる間については、学校は全力で子どもの命を守ります。ですが、災害はいつ起こる

か分かりません。是非ご家庭でも家のいるときの避難の方法について話し合ってみてください。



## 地域の伝統を学ぶ 卒業証書作り（6年） ～手作り和紙で卒業を迎える～

9日、6年1組が二本松市和紙伝承館にて紙漉きを体験しました。道の駅安達の中にある二本松和紙伝承館では、上川崎和紙の伝統を守ることを目的に体験室が設けられており今回はこの施設を利用した体験となりました。今回の紙漉きは、地域の伝統文化の体験という意味だけでなく、漉いた紙を卒業証書として使用するという大きな目的もありました。

慣れない作業ながらも心を込めて真剣に取り組む子どもたち。自ら紙を漉いて作った和紙の卒業証書を受けることは、一生の思い出になることと思います。近く2組も体験に出かける予定です。



**保護者の皆様からの声をお待ちしています。**

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または [assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp](mailto:assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp) まで）～

..... 切り取り線 .....

